

地域創造的アプローチによる 鳥獣害対策

ー農地・里山林の活用を中心にー

令和4年9月21日

大磯町産業観光課 弘重 穰

1

■本日の内容

- ①はじめに 大磯町紹介＋問題の所在
- ②農地活用 ～営農管理的アプローチ～
- ③森林活用 ～「自伐型林業」×「小さい経済」～
- ④地域間連携 ～島根県美郷町との連携～
- ⑤地域創造的アプローチによる鳥獣害対策

2

■大磯町の概要



大磯町キャラクター“いそべえ”

■総面積：1,718ha
 ■耕地面積：261ha
 ■林野面積：491ha

■総人口：約31,000人
 ■世帯数：約12,000世帯
 ■高齢化率：34.6%

(2022年1月1日現在)

■大磯町の概要



電車で

J R 東海道線にて

【所要時間】

【新宿駅から】	新宿→大磯	1時間5分
【東京駅から】	東京→大磯	1時間5分
【横浜駅から】	横浜→大磯	36分
【藤沢駅から】	藤沢→大磯	16分
【小田原駅から】	小田原→大磯	16分



大磯の獣害

野生鳥獣による農作物被害調査結果

年度	2011	2015	2020
被害面積 (ha)	0.94	1.62	0.89
被害量 (t)	3.148	5.357	12.388
被害額 (千円)	605	1,505	3,381
イノシシ	591	1,505	3,088
シカ	0	0	85
中型獣	0	0	35
鳥類	14	0	173

※神奈川県を集計結果より

捕獲頭数

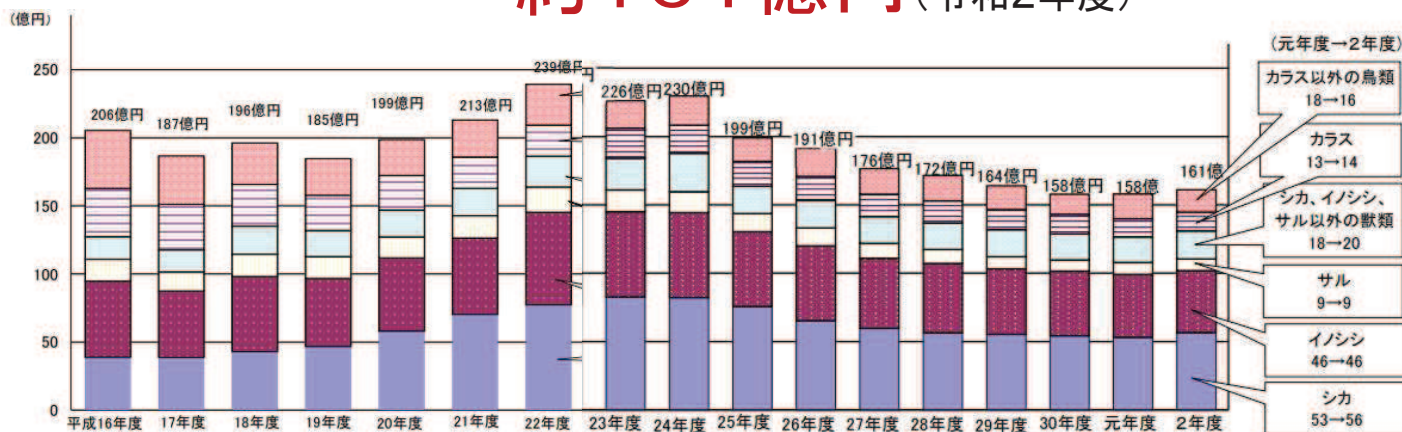
年度	2011	2015	2020
イノシシ (頭)	67	42	198
シカ (頭)		4	2

※イノシシは有害鳥獣捕獲の頭数と、野外で死亡した個体の回収頭数を合計した頭数。シカは個体数調整のための管理捕獲の頭数と、野外で死亡した個体の回収頭数を合計した頭数

5

全国の野生鳥獣による農作物被害金額の推移

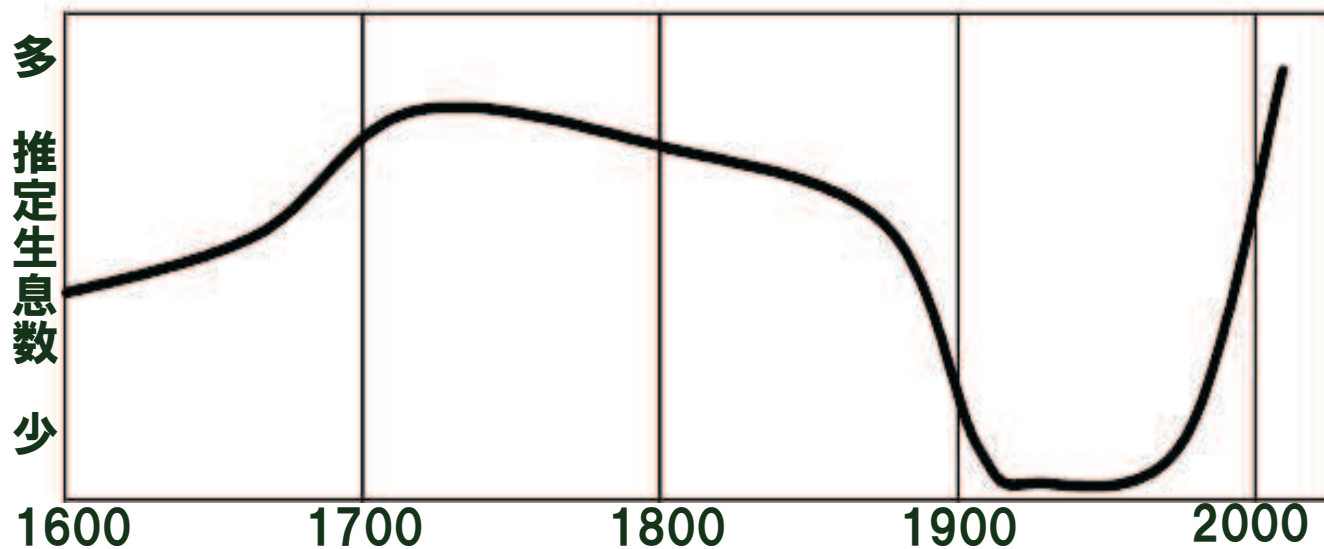
約161億円 (令和2年度)



農林水産省 鳥獣害対策予算 (令和2年度)

当初予算 約100億円

補正予算 約 20億円



江戸期から現在までのシカ推定生息数の変遷模式図

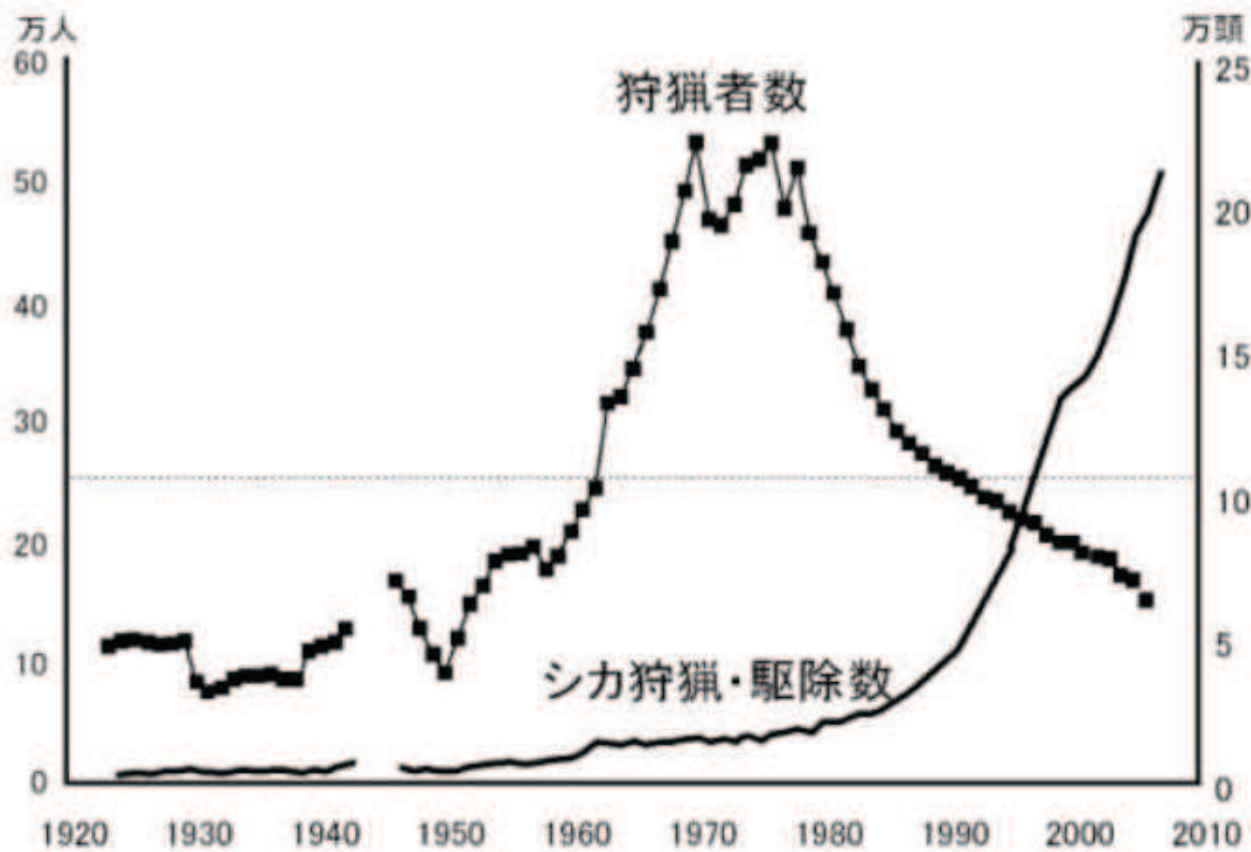
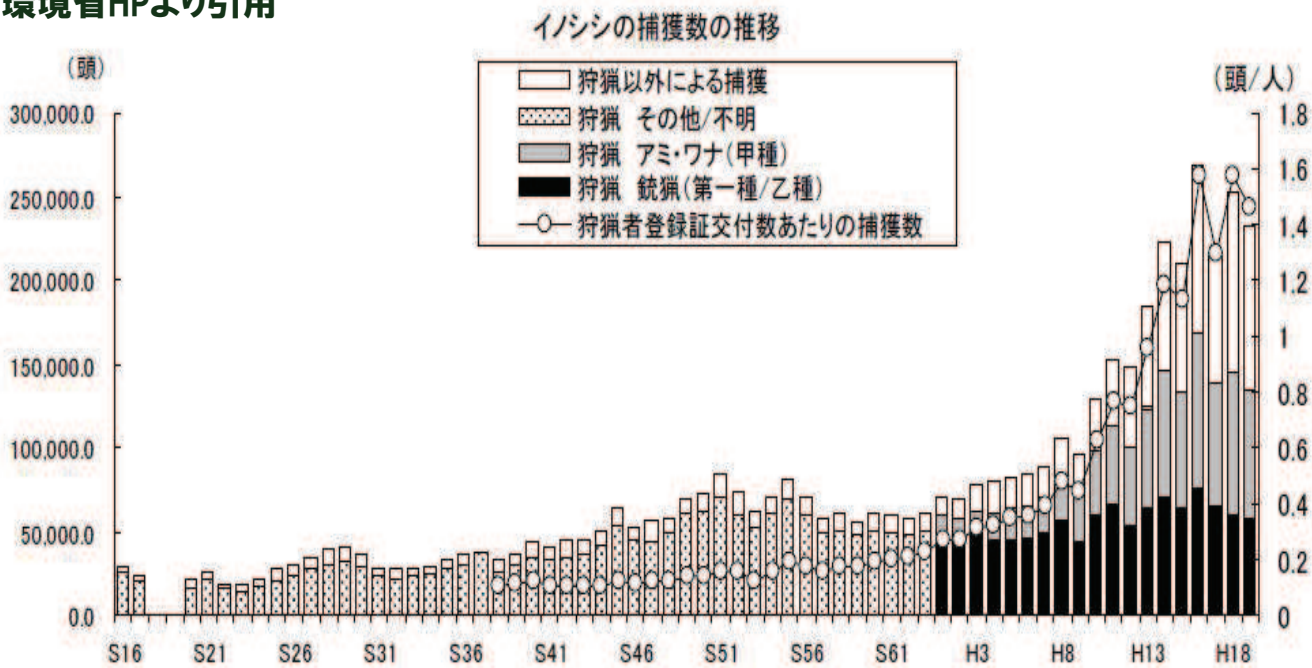
出典：小山ら（2010）「ニホンジカの食害による森林被害の実態と防除技術の開発」
長野県林業研究センター研究報告（育林部）24号

被害面積と捕獲頭数の推移 (イノシシ・シカ)

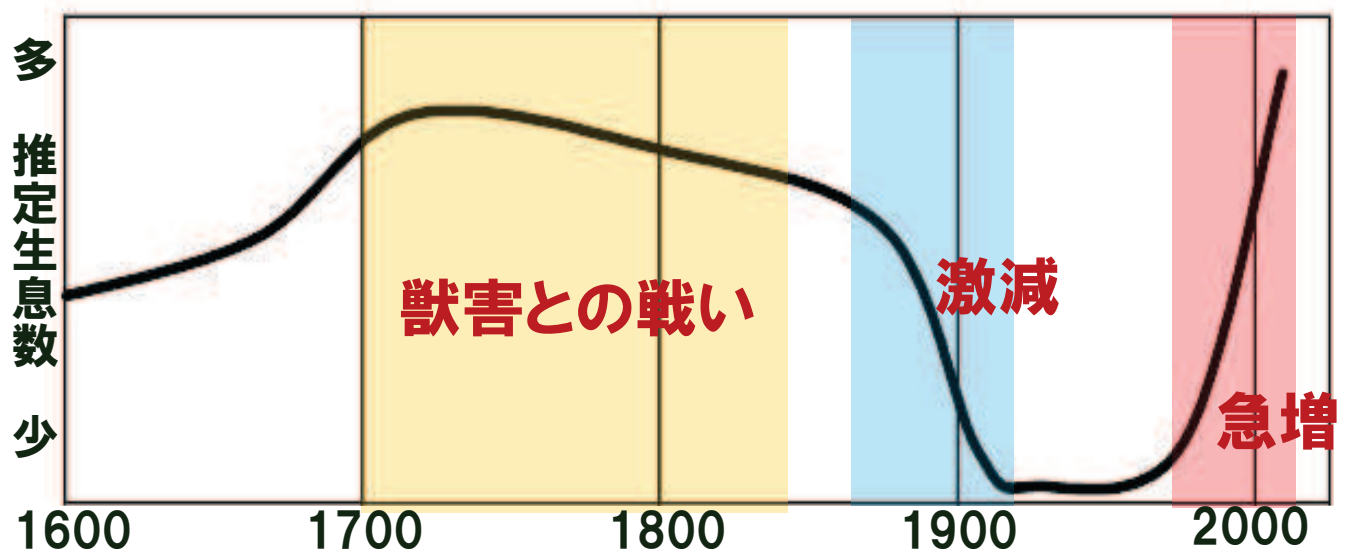


出典：一般社団法人農山漁村文化協会 企画・制作DVD
「地域で止める獣害対策シリーズ4 被害を減らすための捕獲」

環境省HPより引用



出典：揚妻（2013）「シカの異常増加を考える」生物科学, 65(2), 108-116



作物残渣(ダイコン)



取残した果樹(ユズ)

13



米のヒコバエ

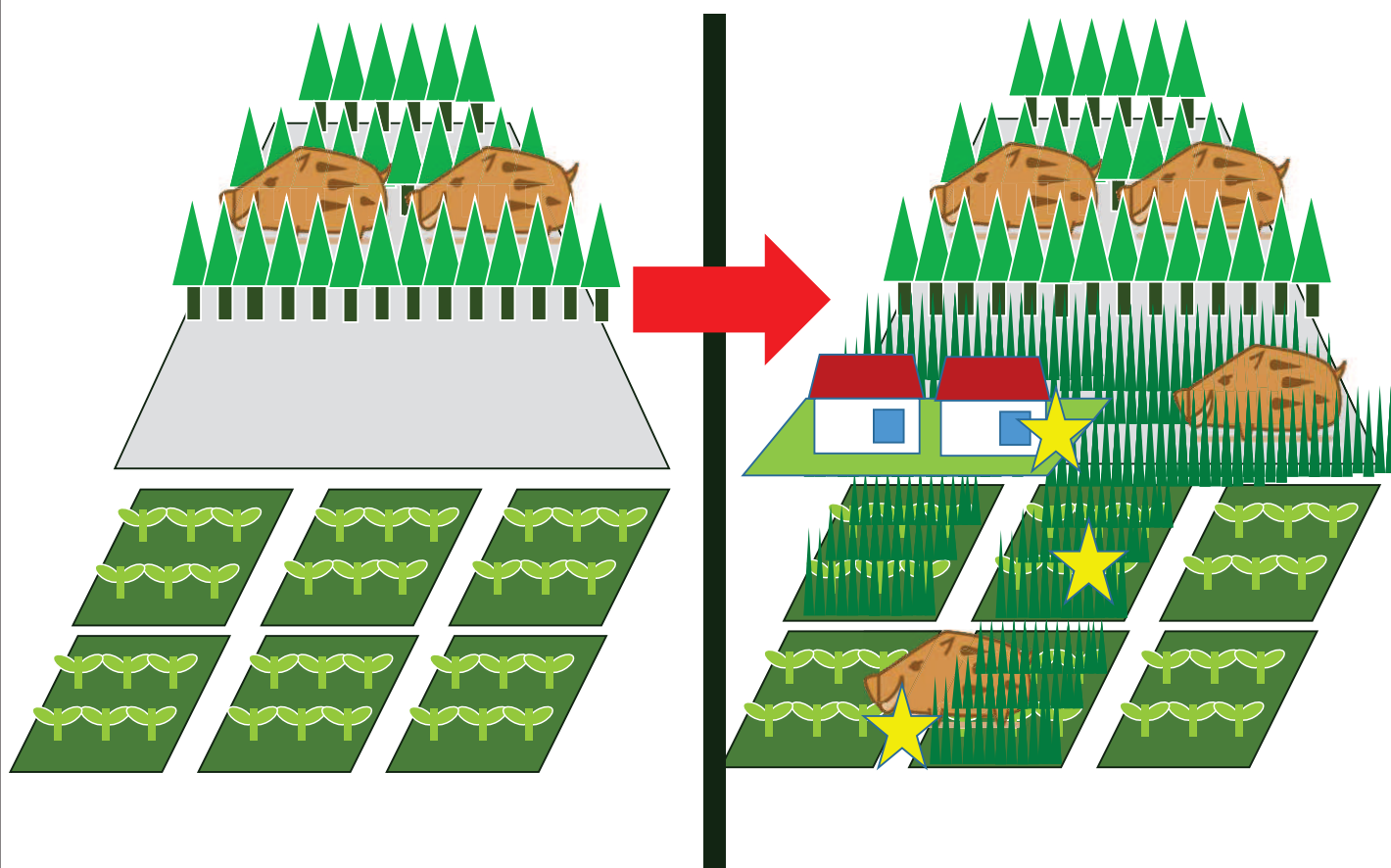


米に換算すると
一反あたり

47kg

(滋賀県)

里山と農地の利用低下



獣害 なぜふえている？

獣の暮らしやすい環境になった

- ① 安心して居られる場所が増えた
- ② 自由に食べられる餌が増えた

栄養状態がよくなる

5頭生んで2～3頭生き残る → 5頭生き残る

いくら駆除しても被害は減らない

捕獲のみに頼った対策は、**労力と出費の無限地獄**に陥る危険あり
(宇都宮大学 小寺祐二氏)

獣害問題



農地や里山林など二次的自然の
利用のあり方の問題



地域資源の適正利用・管理により
野生獣を寄せ付けない増やさない
地域づくりへ

■実践上の課題

①依存からの脱却

捕獲依存・行政依存の傾向が強い
住民主体・地域ぐるみの対策への転換

②多様な動機付けの設定

意欲的・継続的な対策のために
対策の負担感をいかに減らすか
マイナスをゼロにするだけでなくプラスに

③問題解決型から価値創造型へ

19

■対策の基本方針

対策は**順番**が大事！

- ① **まずは、地域みんなで勉強**
- ② **農地や地域の環境を改善**
- ③ **個人でできる囲い**
- ④ **駆除・大規模柵**（個人でできないこと）

④から始めると、「**対策は誰かにやってもらうもの**」
と思う人を増やしてしまう

■みんなで勉強(講習会の開催)

座 学

環境点検

実 習

- ①環境整備
- ②圃場管理

話し合い
(ワークショップ)

☆講師
井上雅央氏

☆開催回数(H27~)
合計50回以上

☆参加者数
のべ1000名以上
(一般参加650名以上)

営農管理的アプローチによる鳥獣害防止

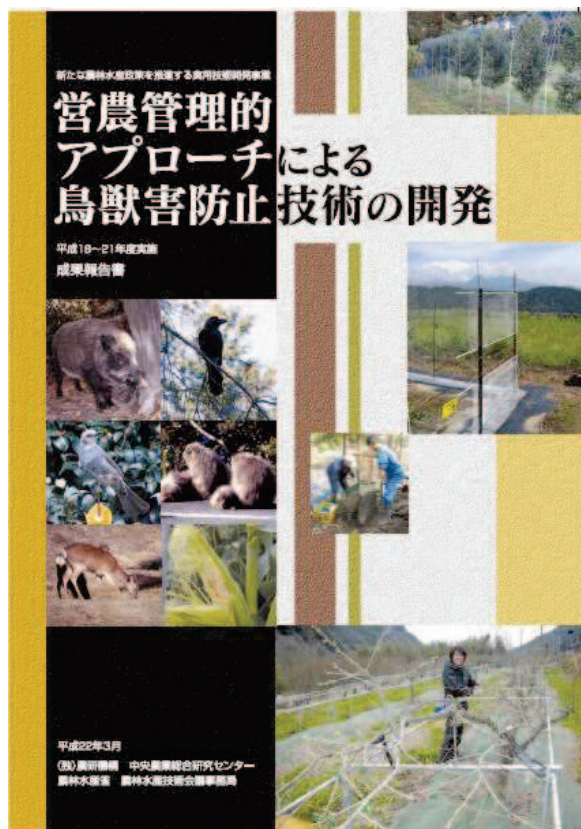
農家の日々の営農管理

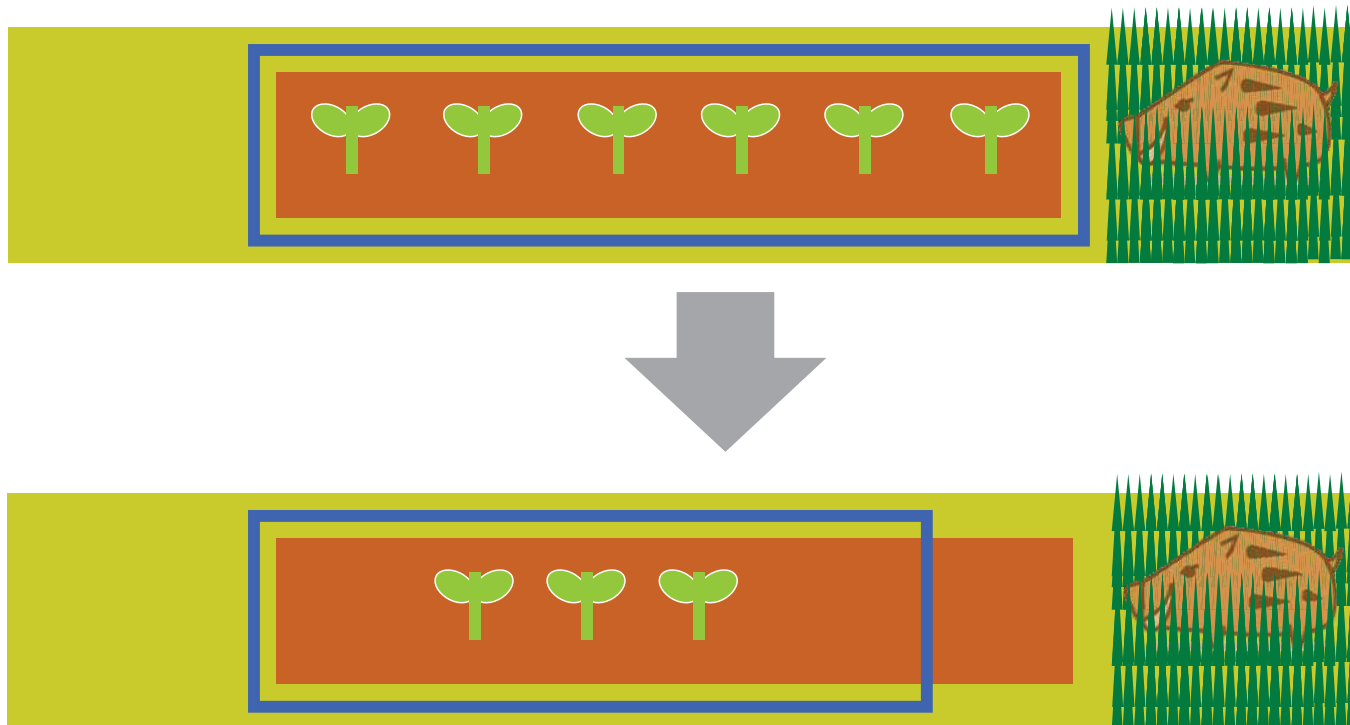
**生産性、収益性、
作業効率、コスト削減**など

×

鳥獣害に強い農業
餌付け防止 + 防除柵
動物を寄せつけない

農研機構 中央農業総合研究センター
新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業
(平成19~21年年度実施)





栽培株数を減らして、柵の周り・畑の周りにスペースつくって
獣害から守れる畑に改良
それでも前よりたくさん収穫したいから、野菜の作り方も改良

ナス



この作り方なら、一株で200個とれる！

100歳まで楽しめる農業を学ぼう！

キウイフルーツ・ブドウ など



腰の高さで、剪定・収穫がやりやすい

高齢者が無理なく農業を継続

放棄地対策 + 獣害対策 + 健康づくり



被害対策ネットもかけやすい

この白菜を作った人
ただ者ではない！



「宝さがし」の集落点検

「アラ探し」は人をくじけさせる

27



農地の再生



■大磯町の鳥獣害対策



教材DVD
雑誌
新聞などに掲載



■大磯町の森林概況

町面積	1,718ha
森林面積	528ha
林野率	約30%

□樹種別内訳 (※)

人工林面積	48.1ha
天然林 広葉樹林面積	432.4ha
その他	9.3ha

※地域森林計画対象民有林489.86haの内数

□所有形態別内訳

国有林	2ha
私有林面積	483ha
公有林面積	43ha
うち県有林	32ha
うち市町村有林	12ha

約90%

■町内に森林組合は不在。森林管理の担い手不足。

■かつては薪炭林として利用。近年は過少利用に起因する問題が顕著(倒木被害・獣害の温床・農地の日照阻害など)

■二つの視点

①林業に対する既存の先入観からの脱却

- ・小さい林業＝自伐型林業
- ・資本集約的でもなく、非営利ボランティアでもなく

②「生業＝経済活動」の捉え方の再構成

- ・小さい経済
- ・多様な経済(貨幣/自給/互酬)
- ・副業/兼業/多業/マルチワーク

■自伐型林業への着目

大磯町が着目した自伐型林業の特徴

- ①地域住民や山林所有者が、
地域の山林や所有山林において
継続的に実施する**自営型**の林業

× 一過性・委託型

- ②**小型機械**の活用により、
低コスト・低投資で参入が容易な
施業方法

× 大型・高性能機械

- ③**低度(2割以下)の間伐**を
繰り返す施業方法

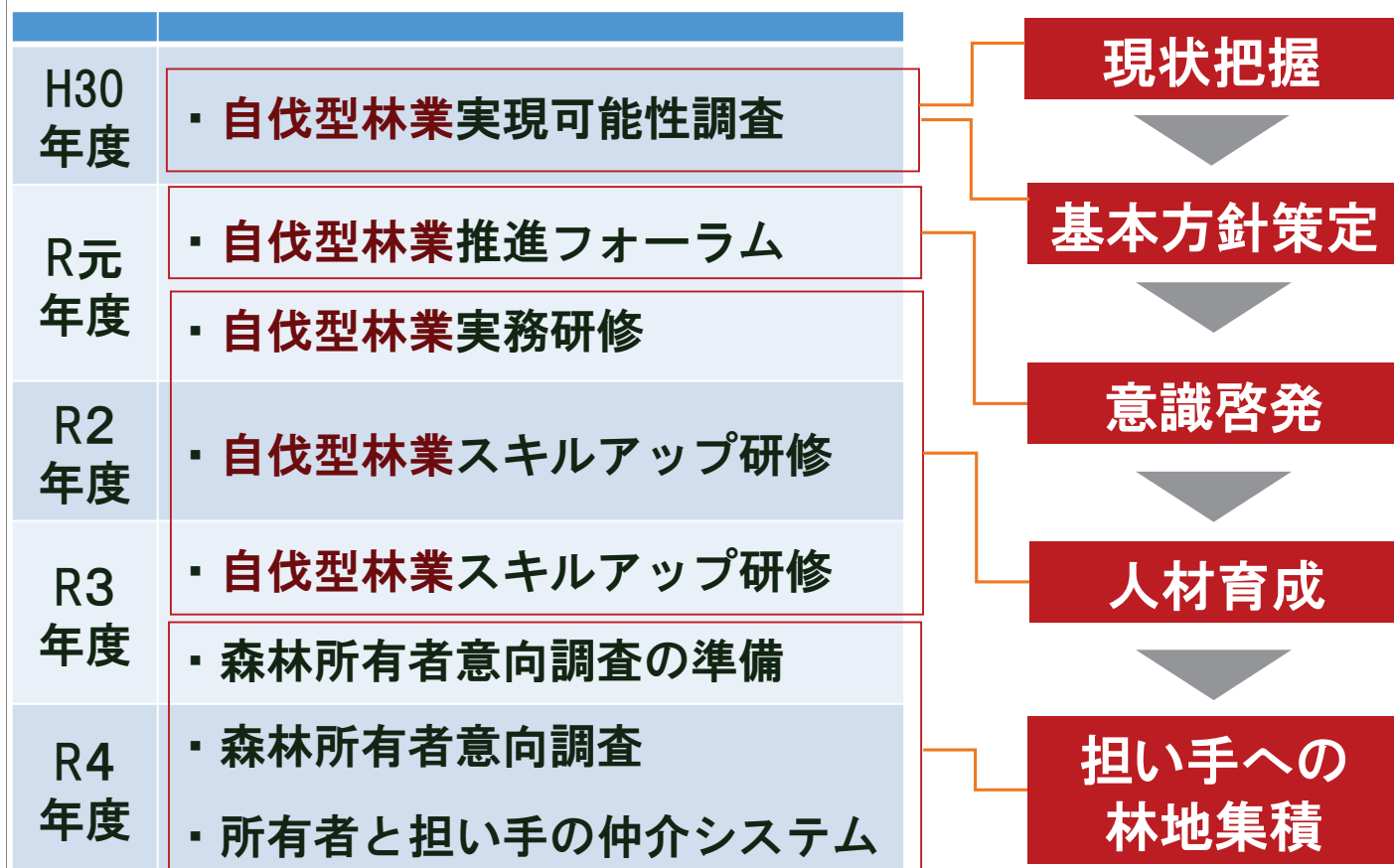
× 皆伐・過間伐

- ④**災害耐性と環境保全性**に配慮

- ⑤**兼業・副業**以上の仕事



■事業の流れ



自伐型林業による町内森林の活用促進

■基本方針

自伐型林業による大磯町の森林活用の方向性

- ① 広葉樹施業型林業の推進
- ② 薪のある町づくり
- ③ 兼業・副業型林業の推進

■森林の過小利用に起因する問題の解消
倒木被害、生息地拡大による獣害拡大、
農地の日照阻害など

■地域のブランド価値の向上
都心に近い立地でありながら
自然と地域に密着した活動や仕事に従事できる町

■意識啓発

■ 自伐型林業推進フォーラム(86名参加)

- ①基調講演：自伐型林業の特徴、森林活用の可能性など
- ②実現可能性調査の報告
- ③県外・町内実践者による意見交換
- 自伐型林業推進フォーラムの成果
持続可能な広葉樹林の森づくり討論
- 町内北部の広葉樹林は、かつて、豊かな自然環境に恵まれた地域で、山梨県内でも数少ない広葉樹林が多く、樹齢100年以上の巨木も数多く見られる。しかし、近年、人口減少や高齢化が進み、林業の担い手が不足している。このため、町内北部の広葉樹林の持続的な利用と管理のあり方について、町民と関係機関が協議している。
- 町内北部の広葉樹林は、かつて、豊かな自然環境に恵まれた地域で、山梨県内でも数少ない広葉樹林が多く、樹齢100年以上の巨木も数多く見られる。しかし、近年、人口減少や高齢化が進み、林業の担い手が不足している。このため、町内北部の広葉樹林の持続的な利用と管理のあり方について、町民と関係機関が協議している。

静岡県熱海市「熱海キコリーズ」
静岡県熱海市「熱函きこり隊もりりんズ」
群馬県みなかみ市「みなかみリンカーズ」
大磯町「大磯きこりラボラトリー」



自伐型林業推進フォーラムh大
 持続可能な広葉樹林の森づくり討論

野の北前川に広葉樹林が広がり、豊かな森林資源に恵まれた大津町。しかし、半葉樹林の急増が多く、樹木資源と林業上の森林の持続可能な管理と自然の恵みの保全とが生じています。

大津町では、林業の森づくりを推進する「自伐型林業」の推進により、開墾の制限につなげていきたいと考えています。

本フォーラムでは、森づくりに関心のある方や関係者のみなさん、山林の管理にお詳しい林研の方、山林資源を有効に活用する方への森づくりに関心のある方に集まっています。自伐型林業のあり方を検証し、持続可能な森づくりについてみなさんと一緒に話し合います。

大津町や南紀白河町にお住まいの方、どなたも大歓迎！みなさまの参加をお待ちしています。

【主催】
 大津町

【協賛】
 NPO法人 自伐型林業推進協会








【プログラム】

第1期 15:00～【自伐型林業】
 地方自治の自伐型林業実践
 中津町 林研の自伐型林業推進協会代表理事

第2期 16:00～【森林管理】
 「大津町市役所林業課」に寄託された森林の管理
 民営企業・NPO法人・自治体・林業推進協会代表

第3期 16:30～【バリエーション】
 【自伐型林業】
 大津町市役所林業課・大津町市役所林業推進協会代表

【自伐型林業】
 大津町市役所林業課・大津町市役所林業推進協会代表

令和元年 8月25日(日)

【開場】 15:00～16:00
 【開場】 大津町環境センター（収容人数未定）
 【開場】 16:00～
 【開場】 大津町環境センター（収容人数未定）
 【開場】 大津町環境センター（収容人数未定）
 【開場】 大津町環境センター（収容人数未定）

【参加費】 大津町市役所林業課・大津町市役所林業推進協会代表
 TEL: 0943-61-1100 内線262

ZIBATSU

■人材育成

■自伐型林業研修

- ・林業初心者が一連の行程を全て学べるプログラム
- ・小型機械の活用、低度の間伐を繰り返す施業方法
→**低投資・災害耐性・環境保全性**に配慮した内容

R元 年度	■自伐型林業実務研修 ・チェーンソー取扱研修：2日間 ・選木,伐倒,造材研修：2日間 ・伐倒,造材,搬出研修：2日間 ・作業道開設,森づくり,経営研修：2日間
R2 年度	■自伐型林業スキルアップ研修① ・育林研修（針葉樹,広葉樹施業）：4日間 ・作業道開設研修：2日間
R3 年度	■自伐型林業スキルアップ研修② ・育林研修（広葉樹施業）：2日間 ・作業道開設研修：4日間

チェーンソー取扱



けん引



伐倒



座学



運搬(林内作業車)



広葉樹施業



作業道



作業道(木組み)



■新しい担い手



■新しい担い手



地域資源の活用
新たな価値創造



鳥獣害対策



大磯町と島根県美郷町の地域活性化に 向けた包括的連携に関する協定

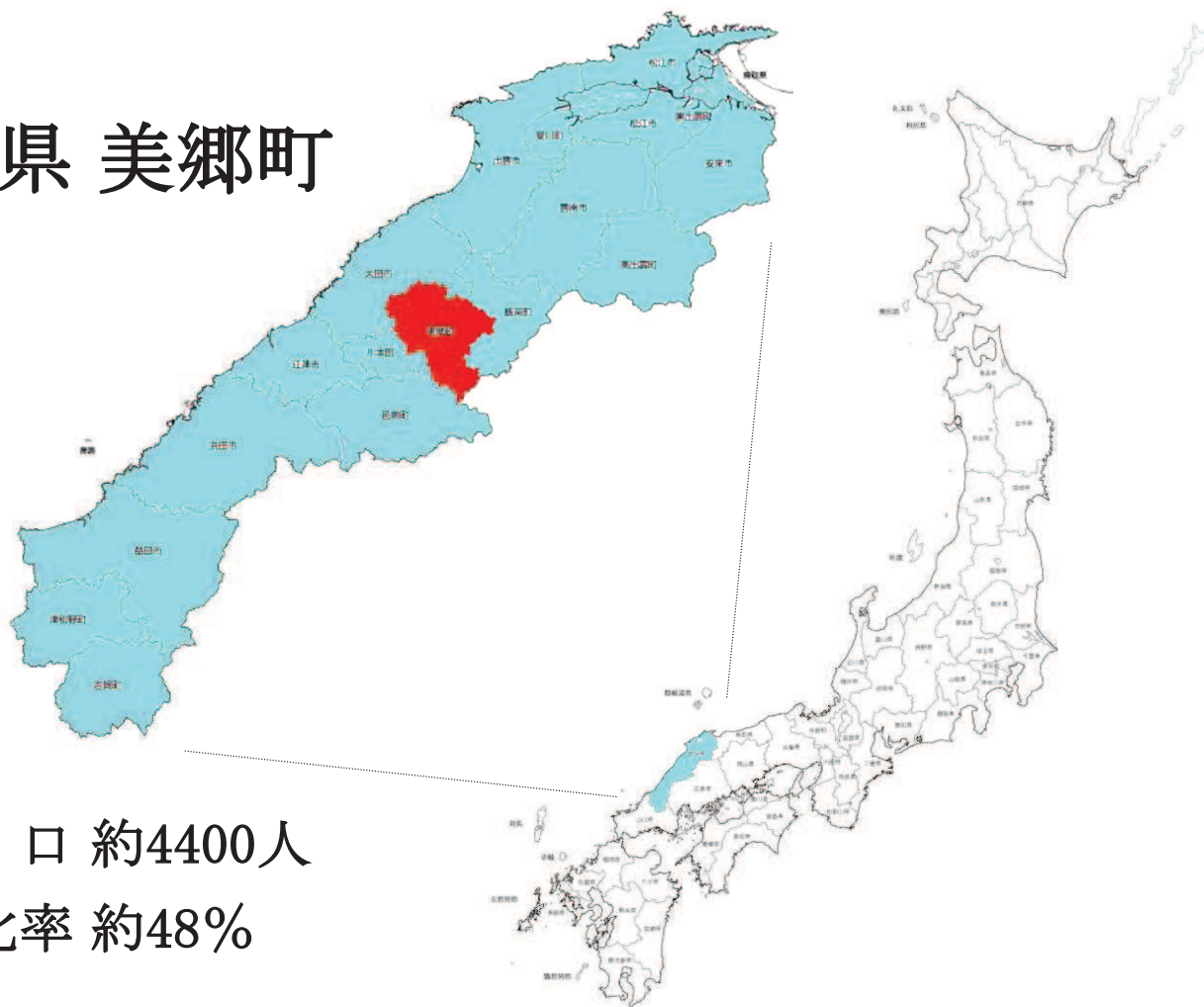
(別称：大磯町と美郷町のビーチ＆バレー協定)



R3年11月10日協定締結式



島根県 美郷町



人 口 約4400人

高齢化率 約48%

■美郷町の皆さんがやっていること

100歳こえても楽しめる畑づくり

よい作物がたくさんとれる畑づくり

婦人会が中心になって
みんなで勉強！



みんなで勉強の場「青空サロン」



いい野菜がたくさんとれるようになったので
直売所をつくりました

収穫祭



山くじら

青空サロンとサロン市場のアンケートにご協力をお願いします。

1. あなたの年齢をお教え下さい (○で回答)
(20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代、90代、100歳以上)

2. サロンの勉強会やサロン市場の販売活動で良かったと思うことは次の内、どれですか (○で回答、複数可)
☒ 野菜栽培法、☒ 果樹の剪定、☒ 鳥獣害の話、☒ 棚の立て方、
☒ 追払い方法、☒ 共同作業、☒ 生産物が売れたこと、☒ みんなと話す機会が増えたこと、その他
 その他とは何ですか ()

3. サロンの勉強会や販売活動で不満や問題点がありますか？
 あれば自由にお書きください。
 (勉強会には楽し、なとてす)

4. サロンが始まって、あなた自身の畑は変わりましたか？
 ・以前より植える面積が増えた
☒ 以前より植える品目が増えた
☒ 収量が増えた
 ・あまり変わらない
 (その他)

5. 前の質問で植える面積が増えたと答えた方にお聞きます (使い慣れて書き込みやすい面積単位の欄にのみ記入してください)
 サロン参加前 () アールが () アールに増えた
 (/) 坪が (/) 坪に増えた
 () 平米が () 平米に増えた

6. 青空サロンやサロン市場についてのご意見や感想があればお書きください。
30坪のサロンの場に出るようになって、10坪の
 能力が10倍くらいで毎日ありがたいです

ご協力ありがとうございました。

婦人会メンバーに
アンケート
井上雅央氏
2009年実施

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
10a→15a 4a→5a	2a→3a 2a→3a	2a→3a 2a→3a 5a→10a 5坪→10坪 少しだけ	1a→1.5a 0→3a 2a→3.5a 3a→6a 1.5a→3a 3a→6a 2a→3.5a 0.5a→1a 3a→6a 0→少し 3a→7a 1.5a→2a 3a→5a 隙間をつめ 1a→3a	2a→3a 3a→5a 2a→5a 1.5a→2a 1a→2a 2a→3a 1a→2a 2a→2.5a	10坪→15坪
みんなの分を あわせたら 全体で、5反 耕作面積が増えた					

■美郷町の皆さんがやっていること

100歳こえても楽しめる畑づくり

よい作物がたくさんとれる畑づくり

獣害対策

豊かな暮らし



神奈川県大磯町と島根県美郷町の 地域活性化に向けた包括的連携に関する協定 (別称:大磯町と美郷町のビーチ&バレー協定)

大磯

- 美郷町のノウハウを導入して、鳥獣対策をさらに改善
- イノシシ等の捕獲体制改革、経費削減

美郷

- 首都圏での、ジビエ製品の販路拡大
- 獣害研修受入れによる来訪者の増加

両町

- 構成事業者・団体の商機・活動機会の拡大
- 美郷ジビエと大磯産品とのコラボ商品

大磯港賑わい交流施設

運営（指定管理者） （株）田園プラザ川場（群馬県）



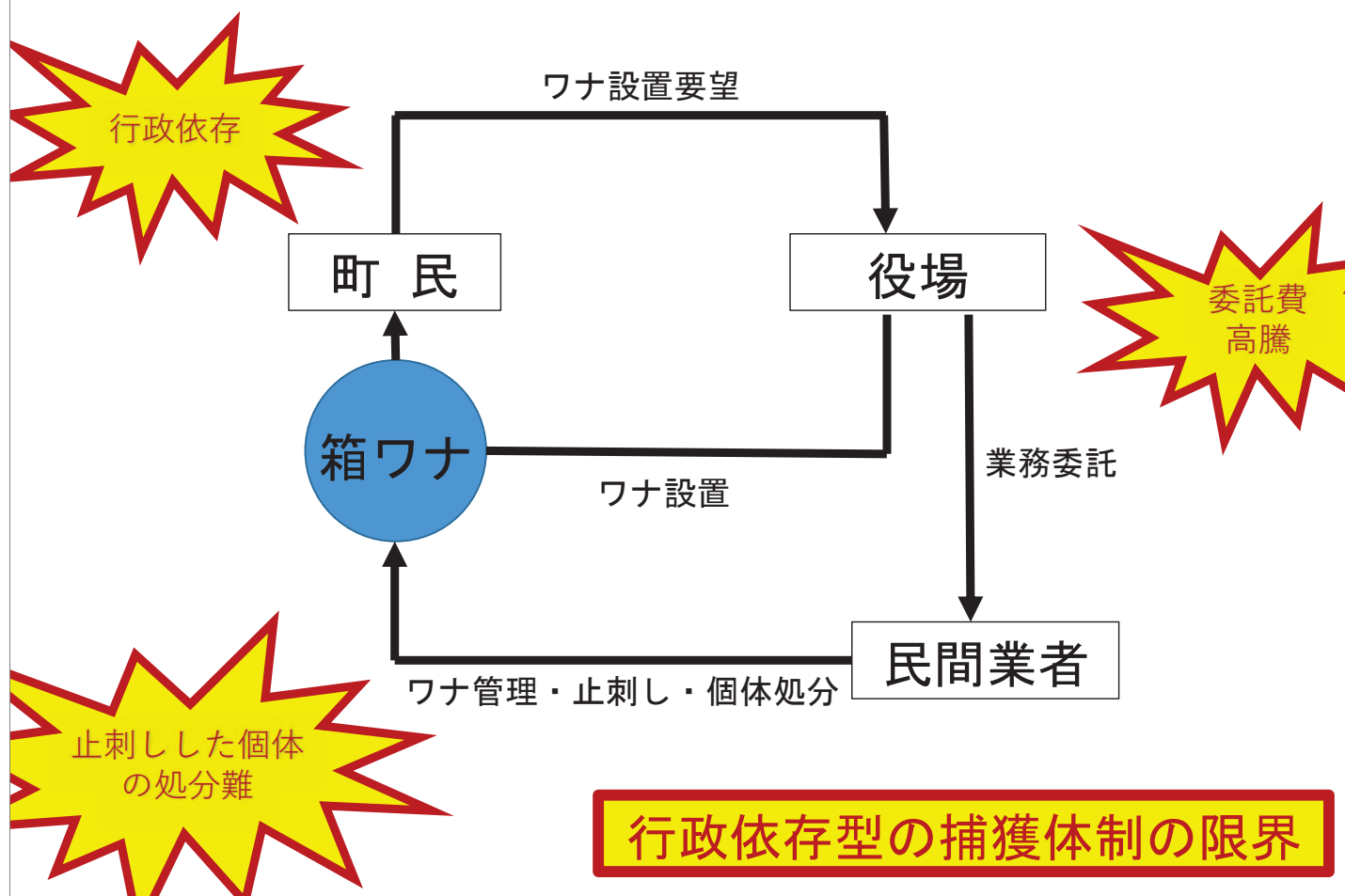
■大磯らしい潤いづくり



地域産品のブランド登録制度

ゆかり自治体一押し品も登録

■大磯町の有害鳥獣捕獲体制の課題



■地域創造的アプローチによる鳥獣害対策

①地域資源の活用

②地域間連携

③人づくり/人と人とのつながりづくり

57

■地域創造的アプローチによる鳥獣害対策

①地域資源の活用

- ・野生獣が利用している地域資源
→人間による利用を取り戻す
- ・多様な資源の活用
(自然、文化、知識、技術、地域組織など)
- ・総合的な地域活性化へ
- ・鳥獣害対策自体も地域資源に

58

■地域創造的アプローチによる鳥獣害対策

②地域間連携

- ・鳥獣害は連携のきっかけで目的は地域活性化
- ・互いの強みと資源を交換し合う
- ・模倣や依存ではなく
自らを問い直し再構築するきっかけと捉える

59

■地域創造的アプローチによる鳥獣害対策

③人づくり/人と人とのつながりづくり

- ・地域資源を価値創造的に活用する知識・技術を
身に付ける実践的な学習機会の創出
- ・依存体質からの脱却

依存体質

①行政依存

②補助金依存

③捕獲依存

④猟友会依存



自律した個人



支えあうつながり⁶⁰